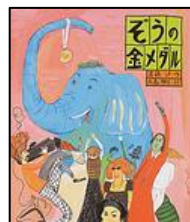




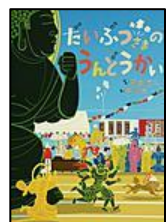
『ないしょのオリンピック』
もとした いづみ／ぶん
やまぐち かおり／え
(ほるぶ出版)

みんながでかけて、しずかになった家の中。おもちゃ、ハブラシ、えんぴつ、サバ缶…いろいろなものが人間たちにないしょで動き出して、おやおや、家中でオリンピックがはじまった！ オリンピックの季節になったらこの絵本を思い出してね。



『ぞうの金メダル』
さいとう ひろし さく
齊藤 洋／作
たかはだけ なお え
高富 那生／絵
(偕成社)

ひとだすけの好きな、ぞう。いつもはジャングルで火事を消しているけれど、オリンピックに出たら、重量あげから水泳まで大かつやく！ 金メダルをいくつもらったのかな？ 本をとじたときの絵をよく見てみてね。



『だいぶつさまのうんどうかい』
かん だ すみ こ
刈田 澄子／ぶん
なかがわ がく
中川 学／え
(アリス館)

くもの雲に乗って、たくさんの仏さまが集まってきました。さあ、楽しい運動会のはじまりです。玉入れや組体操もありますよ。大仏さまは、ちょっとがんばりすぎたかな？ ユーモアあられる絵本です。



『じてんしゃのれるかな』
ひら た としゆき さく
平田 利之／作
(あかね書房)

いろいろな形に変わって、上手に乗れるようになるコツを教えてください、ふしぎな自転車。まだ自転車に乗れない子たちにぜひ読んでほしい、すてきな一冊です。



『こねてのばして』
ヨシタケ シンスケ／作
(ブロンズ新社)

こねて、のばして、またこねて…。次はどうするの？ 心地よいリズムの、ちょっとふしぎで楽しい絵本。親子のスキンシップにもぴったりです。いっしょに、こねてのばして、してみませんか？



『耳の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ』
ナンシー・チャーニン／文 ジェズ・ツヤ／絵 (光村教育図書)
アウト、セーフ、ストライク…野球の試合で当たり前のようにつかわれているジェスチャーは、耳が聞こえないウィリアム選手が考え出したものでした。スター選手だったメジャーリーガーの伝記絵本です。

やってみよう！

こころとからだをうごかそう

おすすめ
えほんリスト
20 さい



えべつしじょうほうとしょかん
ねん がつはっこう
2020年4月発行



『ピピはいっとうしょう！』
ヒド・ファン・ヘネヒテン／文・絵
(パイインターナショナル)

てんてんオリンピックは、てんとう虫たちのスポーツ大会。選手たちがからだをきたえるように、小さなピピも、のどをきたえて応援します。ピピのかけ声に合わせて、ぐんぐんボートをこぐ選手たち。いっしょうけんめいなピピに勇気をもたらえるお話です。



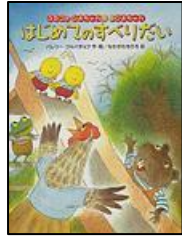
『よーいドン！』
ビーゲン セン／作
やまぎし みつこ／絵
山岸 みつこ／絵
(絵本塾出版)

きょう今日はようちえんの運動会。今年はぜったいに1番をとるよ！ ちーちゃん、はりきって走り出しましたが…あれあれ？ みんなはかけっこ得意かな？ 思わず応援したくなる、あたたかな色づかいの絵本です。



『きみはライオン！ たのしいヨガのポーズ』
ユ テウン／作・絵 (偕成社)

ライオン、ちょうちょ、かえる…ヨガのポーズでいろんな動物になってみよう。終わったら、しばふの上に寝ころんで、ゆっくりしずかに深呼吸。とてもいい気持ちになるよ。



『はじめてのすべりだい』

バレリー・ゴルバチョフ／作・絵 (徳間書店)

はじめてのすべりだい、ひよちゃんとぴよちゃん。はじめて見るすべりだい、上からいきおいよくすべるのはちょっとこわいな…。小さな子が勇気を出せるように応援してくれる絵本です。



『あそぼうあそぼうおとうさん(かがくのとも傑作集)』

浜田 桂子／さく (福音館書店)

おうちでかんたんにできる、全身を使う遊びのアイデアがたっぷりつまった絵本。力持ちのお父さんはもちろん、体力にじしんのある人ならだれでも、子どもと遊べるお山や電車に変身できますよ！



『りきしのほし』

加藤 休三／著 (イースト・プレス)

力士のかちかちやまは、今日も朝早くから、すもうのけいこ。ささやかな楽しみは、お花を育てたり、おやつに肉まんを食べたりすること。強くなるためにがんばる力士のいきいきとした表情やしぐさに、あたたかさあふれます。



『へなちょこ』

くすのき しげのり／作
ふるしょう ようこ／絵
(学研プラス)

体育は得意なのに、なわとびだけは苦手なともちゃん。「へなちょこ」と思われるのがいやで、仲良しのあいちゃんに、なわとびができるとうそをついてしまいますが…。心がほっとする、ふたりの女の子のお話です。



『ポレポレやまのぼり』

たしろ ちさと／ぶん・え (大日本図書)

ポレポレは、アフリカの言葉で「ゆっくり」のこと。動物たちが、ゆっくりゆっくり山のぼり。きれいな景色、おいしいごはん、楽しい夜…。こんな山のぼりなら、きっと行ってみたいくなるね！



『ダンスアース』

宇佐美 吉啓／著
のぶみ／画著
(木楽舎)

ダンスが大好きなラブとピースは、世界中の人とおどるために旅に出ます。マサイ族はぴよんぴよんジャンプ、インディアンはドシドシあしづみ。読んでいるといっしょにおどりたくなります。



『ろってちゃん』

ディック・ブルーナ／ぶん・え (福音館書店)

ろってちゃんは車いすに乗っているから、ボール遊びは上手にできないんじゃないかな。そんな気持ちは、いっしょに遊んでみたら吹き飛びました。ごく自然にみんなで遊ぶことの楽しさを、さりげなく伝えてくれるお話です。



『アルノとサッカーボール』

イヴォンヌ・ヤハテンベルフ／作
(講談社)

新しいサッカーボールを買ってもらったアルノ。ゴールのある場所をさがしていると、いっしょにサッカーをしたいという子たちが少しずつふえてきて…。ピカピカのボールを使うのがもったいない気持ちや、みんなで夢中になってサッカーをする楽しさが、いきいきと伝わってきます。



『だんだんやまのそりすべり』

あまん きみこ／作
西村 繁男／絵
(福音館書店)



人間のいっちゃん、きつねのいっちゃん、呼び名も同じで、こわがりなのも同じ。いきおいよく山からそりすべることができないふたりは、はげましあってそりすべりの練習をすることにします。読み終わったら、そりすべりに行きたくなってしまおうお話です。



『からだをうごかすえほん』

のぶみ／さく
(幻冬舎)

忍者の「にじゅうまる」といっしょに修行をするよ。ジャンプをしたり、手をたたいたり、声を出したり。元氣にからだを動かしながら楽しく読めます。



『とらんぼりん ぼーん』

ふくだ じゅんこ／文・絵
(大日本図書)

いろんな野菜が、とらんぼりんでジャンプ！ぼんぼん飛びただけで楽しくなっちゃう、とらんぼりん。ぼよ～ん、ぴよんぴよん、びよ～ん。ぜひ声に出して読んでみてね。